



覚醒剤の件数、押収量ともに過去最高！

覚醒剤の摘発件数は302件、押収量は約1,771kg

～令和元年の東京税関における不正薬物密輸入事犯の取締り状況～

東京税関において令和元年中に摘発した不正薬物(※)は、合計で412件/約1,856kg（錠剤型麻薬は約4万錠）となった。

内訳は、覚醒剤302件/約1,771kg、大麻50件/約42kg、MDMA8件/約4万錠、その他麻薬36件/約36kg、指定薬物16件/約8kgであった。

[主な特徴]

- ◆ 覚醒剤の摘発件数と押収量は前年を大きく上回り、過去最高
洋上取引による密輸での覚醒剤摘発約1トンは、不正薬物1回の摘発における押収量では過去最高
- ◆ MDMAの押収量が増加
- ◆ コカインの摘発件数は4年連続で増加、押収量は前年と同程度で推移

(※) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

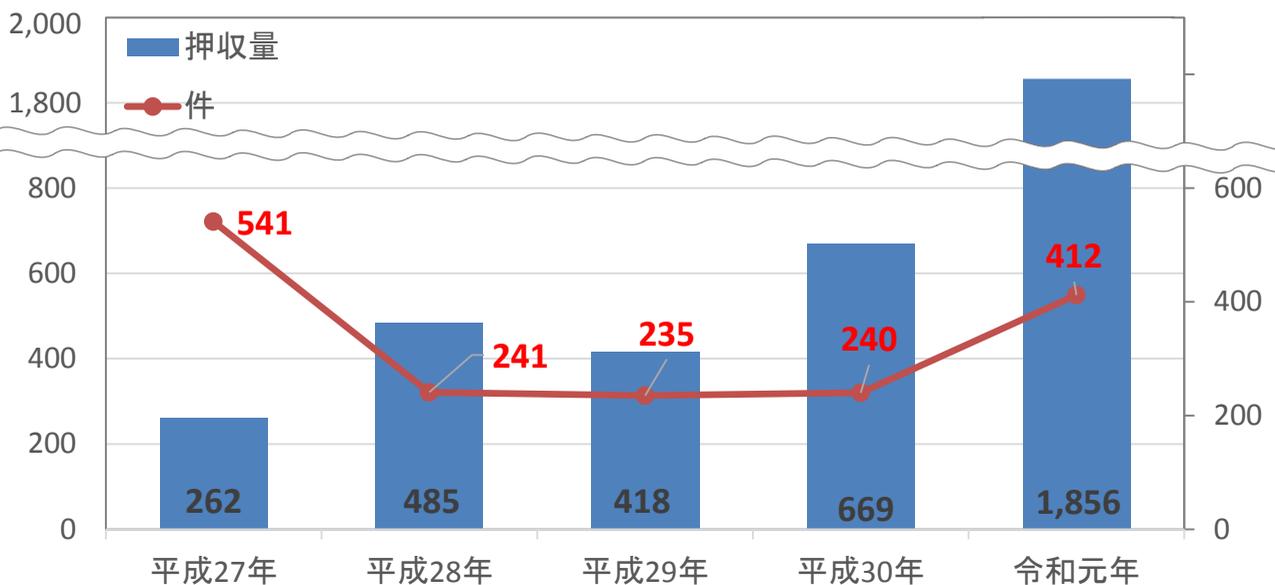
資料1：「東京税関における社会悪物品の摘発実績」参照

- (注) 1. 令和元年とは平成31年1月から令和元年12月までをいう、以下同じ。
2. 令和元年の数値は速報値である。

不正薬物摘発実績

押収量:kg

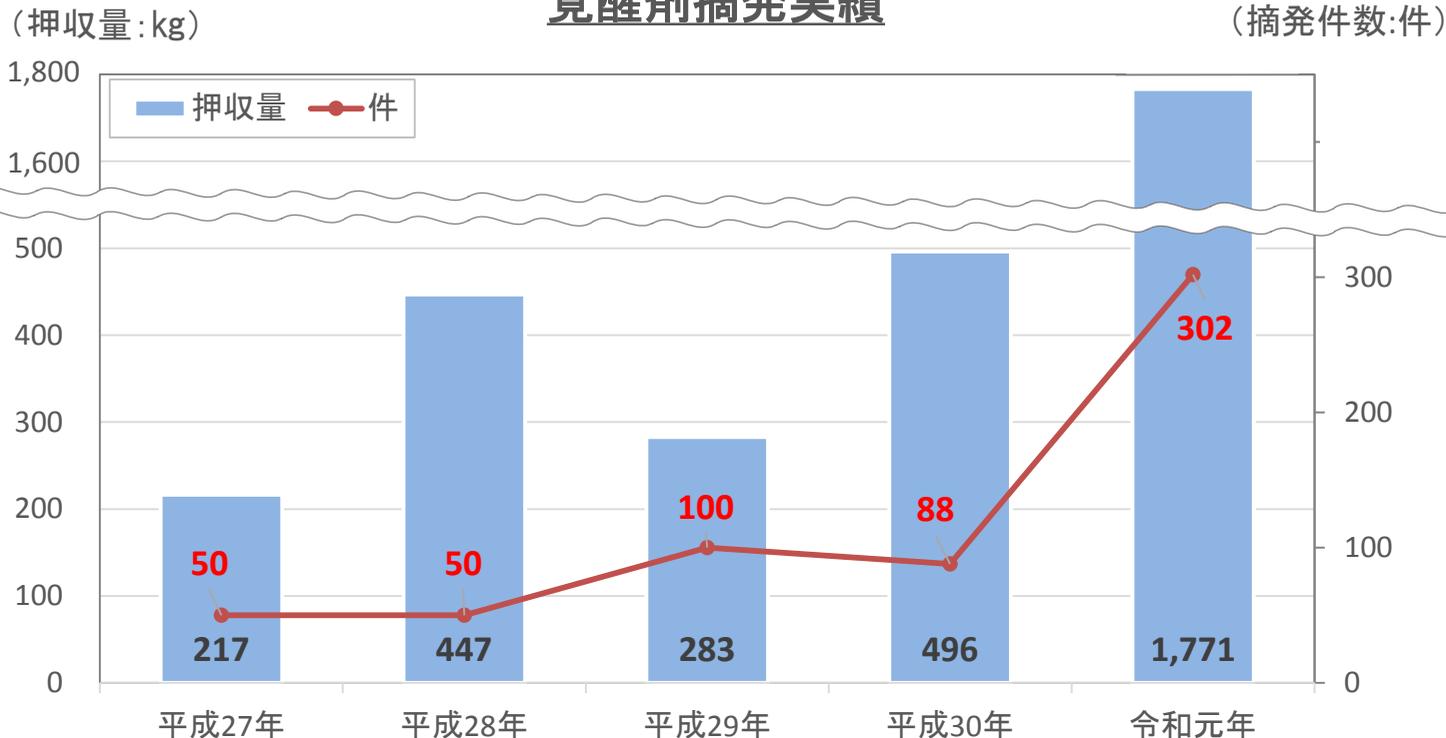
摘発件数:件



1 覚醒剤

- 件数は302件、押収量は約1,771kgと、ともに過去最高を記録した。
※洋上取引での摘発を除いても押収量は約752kgと過去最高であった
- 不正薬物全体押収量の95%以上を占め、不正薬物密輸入事犯の中心となっている。

覚醒剤摘発実績



(1) 密輸入形態

- 航空機旅客・航空貨物・国際郵便において件数・押収量共に過去最高であった。
- 航空機旅客（※1）・航空貨物（※2）において1件あたりの密輸における最大押収量を更新した。

形態別覚醒剤摘発実績

(摘発件数/押収量)

	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
航空機旅客	24件	65kg	31件	63kg	81件	169kg	64件	122kg	179件	348kg
商業貨物	15件	149kg	15件	367kg	6件	35kg	13件	334kg	87件	320kg
海上貨物	4件	77kg	2件	300kg	-	-	4件	313kg	2件	43kg
航空貨物	11件	72kg	13件	66kg	6件	35kg	9件	21kg	85件	277kg
国際郵便	11件	2kg	4件	17kg	13件	78kg	11件	40kg	35件	85kg
船舶乗組員等	-	-	-	-	-	-	-	-	1件	1,019kg
合計	50件	217kg	50件	447kg	100件	283kg	88件	496kg	302件	1,771kg

(注 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。)

様々な密輸形態での覚醒剤を大量摘発

【カナダ来航空機旅客】衣類に包んで覚醒剤(約30kg)を隠匿(※1)
(平成31年2月 成田税関支署摘発)
覚醒剤の携帯密輸1件の押収量としては過去最高



【イラン来航空貨物】ペイントに偽装して覚醒剤(約58kg)を隠匿(※2)
(令和元年7月 成田航空貨物出張所摘発)
覚醒剤の航空貨物による密輸1件の押収量としては過去最高



【カナダ来国際スピード郵便物】プラスチック製ボトル容器内に覚醒剤(約14kg)を隠匿
(令和元年8月 東京外郵出張所摘発)



(2) 仕出地

- 摘発件数はアジア仕出しが半数を占めた。
- 北米・中南米・欧州及び中東仕出しの摘発件数・押収量が増加した。

仕出地別覚醒剤摘発実績

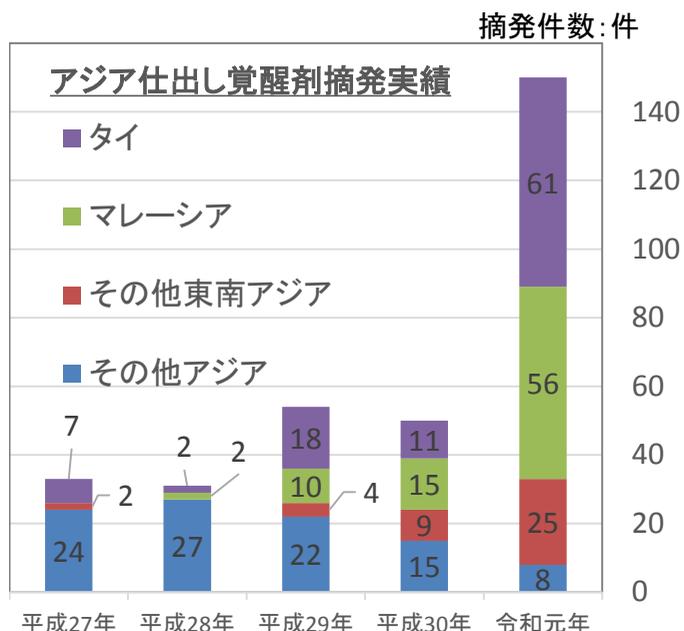
(摘発件数・押収量／構成比)

	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ア ジ ア	33件	66%	31件	62%	54件	54%	50件	57%	150件	50%
	132kg	61%	361kg	81%	83kg	29%	397kg	80%	229kg	13%
北 米	6件	12%	8件	16%	6件	6%	11件	13%	76件	25%
	3kg	1%	16kg	4%	93kg	33%	33kg	7%	247kg	14%
中 南 米	5件	10%	2件	4%	5件	5%	9件	10%	21件	7%
	54kg	25%	27kg	6%	10kg	3%	9kg	2%	128kg	7%
ア フ リ カ	2件	4%	5件	10%	15件	15%	5件	6%	8件	3%
	20kg	9%	38kg	8%	70kg	25%	38kg	8%	20kg	1%
欧 州	2件	4%	3件	6%	10件	10%	7件	8%	27件	9%
	4kg	2%	6kg	1%	16kg	6%	16kg	3%	36kg	2%
中 東	2件	4%	-	-	7件	7%	4件	5%	19件	6%
	3kg	2%	-	-	12kg	4%	4kg	1%	91kg	5%
不 明	-	-	1件	2%	3件	3%	2件	2%	1件	0%
	-	-	0kg	0%	0kg	0%	0kg	0%	1,019kg	58%
合計	50件	100%	50件	100%	100件	100%	88件	100%	302件	100%
	217kg	100%	447kg	100%	283kg	100%	496kg	100%	1,771kg	100%

- (注 1.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
2.押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

東南アジア仕出し覚醒剤摘発増加！

- アジア仕出しの覚醒剤摘発件数・押収量の90%以上(142件・約221kg)が東南アジア仕出であった。
- タイ・マレーシアからの摘発件数が著しく増加した。



【タイ来航空機旅客】嚙下隠匿
(令和元年9月 羽田税関支署摘発)



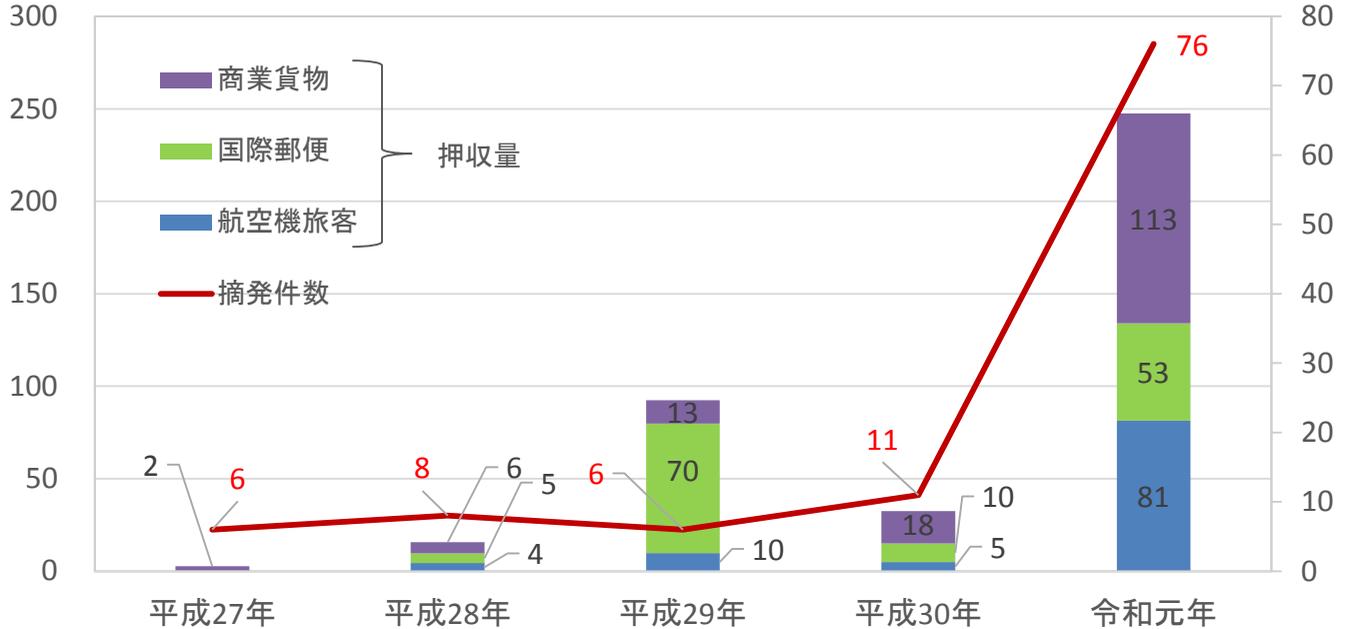
北米仕出し覚醒剤摘発が増加！

- 北米を仕出地とする摘発件数は前年の約7倍、押収量は約8倍と大幅に増加した。
- 摘発件数の過半数を占める45件が商業貨物であった。

押収量:kg

北米仕出し覚醒剤摘発実績

摘発件数:件



【米国来国際スピード郵便物】雑誌の貼り合わせたページの間に覚醒剤(約21g)を隠匿
(平成31年4月 東京外郵出張所摘発)



【カナダ来航空貨物】チリソースに偽装して覚醒剤(約6kg)を隠匿
(平成31年3月 東京税関本関摘発)



ボトルの蓋に白色結晶が付着していた



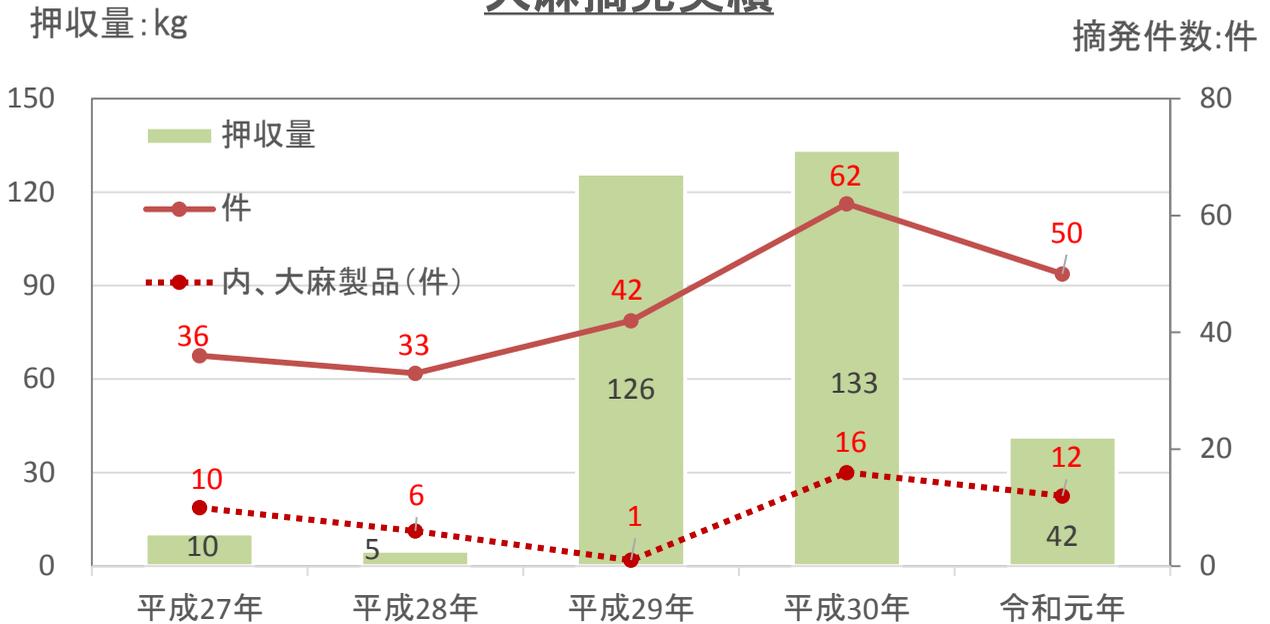
溶液蒸発後



2 大麻

- 摘発件数・押収量ともに前年より減少した。
- 大麻リキッド・大麻ワックス等の大麻製品の摘発件数は12件であり、全体の約4分の1を占めた。
- コーヒー缶の中に隠匿する等、巧妙な手口も見受けられた。(※3)

大麻摘発実績



(1) 密輸入形態

- 航空機旅客・商業貨物・国際郵便において摘発件数・押収量が減少した。
- インド仕出の航空機旅客より大麻樹脂約9kgを摘発した。航空機旅客から1件で5kgを超える摘発は平成18年以來である。(※4)

形態別大麻摘発実績

(摘発件数/押収量)

	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
航空機旅客	20件	1kg	21件	0kg	23件	2kg	17件	92kg	20件	22kg
商業貨物	5件	2kg	6件	4kg	10件	118kg	14件	10kg	7件	5kg
海上貨物	-	-	-	-	1件	100kg	-	-	-	-
航空貨物	5件	2kg	6件	4kg	9件	18kg	14件	10kg	7件	5kg
国際郵便	11件	8kg	6件	1kg	9件	6kg	31件	31kg	23件	14kg
船舶乗組員等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	36件	10kg	33件	5kg	42件	126kg	62件	133kg	50件	42kg

- (注) 1.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
2.押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

(2) 仕出地

- ▶ 仕出しの中心は前年と変わらず北米であり、摘発件数の約82%、押収量の約78%を占めた。
- ▶ 100gを超える大麻草の摘発は北米仕出しのみであった。

	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ア ジ ア	7件	19%	9件	27%	10件	24%	2件	3%	2件	4%
	4kg	42%	3kg	63%	11kg	9%	1kg	1%	9kg	22%
北 米	17件	47%	17件	52%	21件	50%	50件	81%	41件	82%
	6kg	58%	2kg	33%	14kg	11%	130kg	98%	32kg	78%
中 南 米	2件	6%	1件	3%	-	-	1件	2%	-	-
	0kg	0%	0kg	0%	-	-	1kg	0%	-	-
アフリカ	-	-	-	-	1件	2%	-	-	-	-
	-	-	-	-	100kg	79%	-	-	-	-
欧 州	9件	25%	4件	12%	4件	10%	7件	11%	7件	14%
	0kg	0%	0kg	3%	1kg	1%	1kg	1%	0kg	0%
中 東	-	-	-	-	-	-	2件	3%	-	-
	-	-	-	-	-	-	0kg	0%	-	-
不 明	1件	3%	2件	6%	6件	14%	-	-	-	-
	0kg	0%	0kg	0%	0kg	0%	-	-	-	-
合計	36件	100%	33件	100%	42件	100%	62件	100%	50件	100%
	10kg	100%	5kg	100%	126kg	100%	133kg	100%	42kg	100%

- (注 1.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
2.押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

【米国来国際スピード郵便物】菓子袋底部に大麻ワックス(約57g)を隠匿
(平成31年1月 東京外郵出張所摘発)



【米国来航空貨物】(※3)
コーヒー缶内部に大麻草(約5kg)を隠匿
(令和元年11月 東京税関本関摘発)

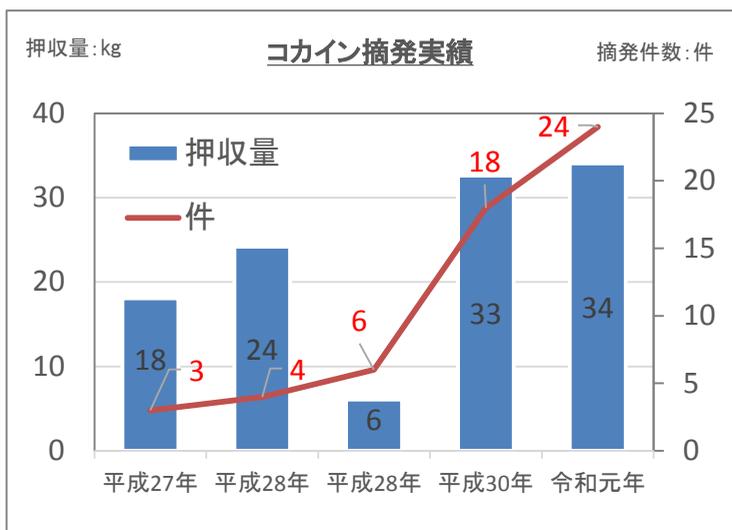
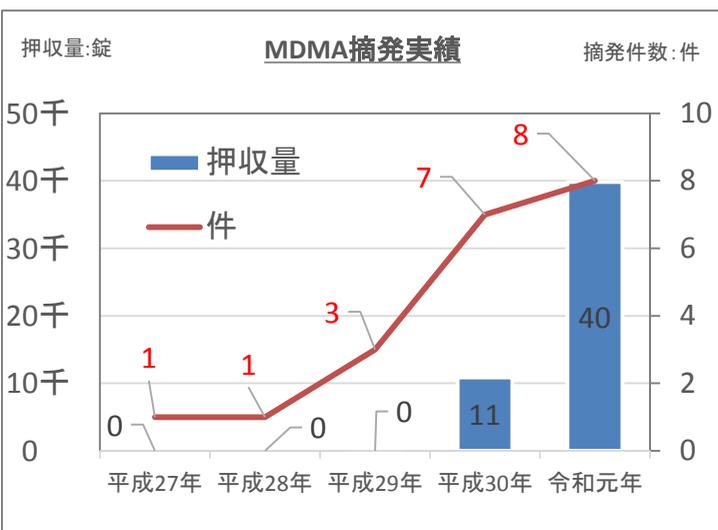


【インド来航空機旅客】(※4)
二重底に工作したスーツケースに大麻樹脂(約9kg)を隠匿
(平成31年1月 羽田税関支署摘発)



MDMAの押収量、再び増加傾向に ～ コカインの摘発件数は過去最高を更新 ～

- MDMAの押収量が増加しており、平成20年以来の3万錠超えであった。
- コカインの摘発件数は前年を上回る24件を記録、押収量は同程度で推移した。



【フランス来航空機旅客】二重底に工作したスーツケースにMDMA(約11,000錠)を隠匿
(令和元年5月 成田税関支署摘発)



【ペルー来航空機旅客】コンタクトレンズ洗浄液等に偽装してコカイン(約9kg)を隠匿
(平成31年2月 成田税関支署摘発)



洋上取引による大量の覚醒剤の摘発

- 令和元年6月 鳥島南西方沖において洋上取引された覚醒剤約1トン(過去最高の押収量)を静岡県伊豆町の海岸において摘発した。



ショットガン方式による密輸の摘発

- 不正薬物を同時期に分散して密輸を行う、ショットガン方式が見受けられた。
- 航空機旅客では、実際の観光ツアーに複数人で応募し、密輸を試みるケースがあった。

【メキシコ来航空機旅客】スーツケース底部に覚醒剤（計約15kg）およびコカイン（計約4kg）を隠匿
（令和元年7月 成田税関支署摘発）

同一の便に搭乗



覚醒剤



コカイン

※全員同様の隠匿手口であり、覚醒剤およびコカインを所持

【タイ来航空機旅客】紙箱内に覚醒剤（計約18kg）を隠匿
（令和元年6月 成田税関支署摘発）

実際に観光ツアーへ申し込み、同一の便に搭乗



※全員同様の隠匿手口

【カナダ来国際スピード郵便物】手提げバッグおよび紙製箱に大麻草（計約5kg）を隠匿
（平成31年3月 東京外郵出張所摘発）



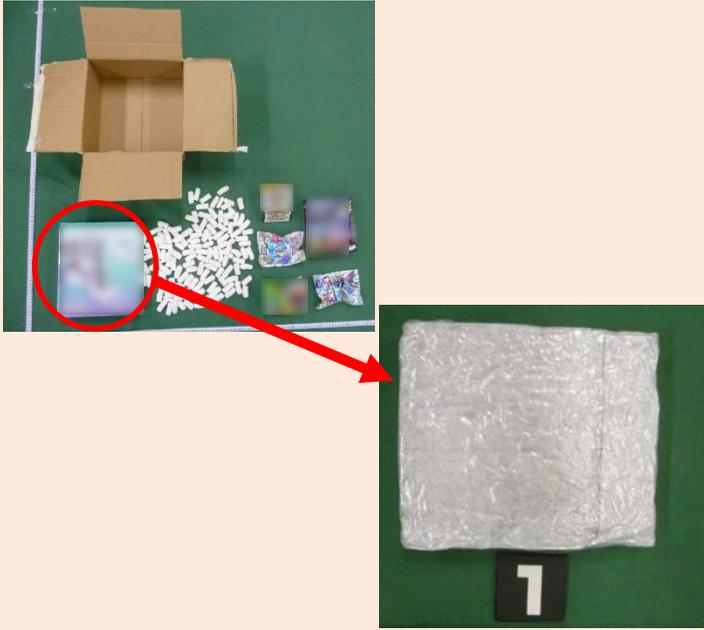
※計5件の郵便物がショットガン方式で送られてきたもの

民泊を宛先とする密輸の摘発

- 不正薬物を民泊に送り、受け取ろうとする事案が多数見受けられた。
- おもちゃの箱やパズルの内部に隠匿する手口が多数見受けられた。

【米国来航空貨物】

おもちゃの箱内に覚醒剤(約2kg)を隠匿
(令和元年8月 東京税関本関摘発)



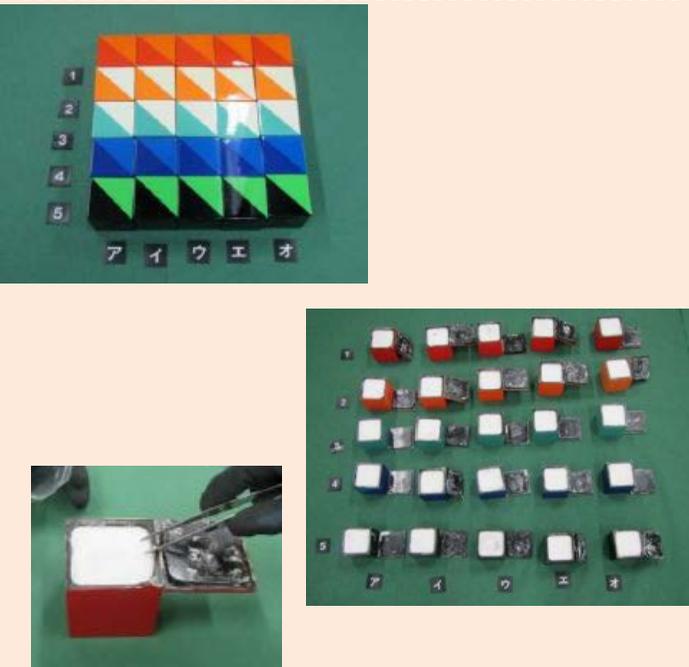
【米国来航空貨物】

おもちゃの箱内に覚醒剤(約2kg)を隠匿
(令和元年8月 東京税関本関摘発)



【ドイツ来航空貨物】

立体パズルに覚醒剤(約7kg)を隠匿
(令和元年11月 東京税関本関摘発)



【カナダ来国際スピード郵便物】

プラスチック製ボトル容器内に覚醒剤(約7kg)を隠匿
(令和元年9月 東京外郵出張所摘発)



社会悪物品の摘発実績

種類	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年同期比
		件	50	50	100	88	302
覚醒剤	kg	217	447	283	496	1,771	357%
大麻	件	36	33	42	62	50	81%
	kg	10	5	126	133	42	31%
大麻草	件	21	22	34	44	37	84%
	kg	8	4	114	132	31	24%
大麻樹脂	件	15	11	8	18	13	72%
	kg	3	1	12	1	10	773%
あへん	件	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	72	27	25	40	44	110%
	kg	25	24	6	35	36	104%
	千錠	0	0	0	11	40	3.7倍
ヘロイン	件	2	-	1	1	1	100%
	kg	2	-	0	1	2	285%
コカイン	件	3	4	6	18	24	133%
	kg	18	24	6	33	34	104%
MDMA等	件	1	1	3	7	8	114%
	kg	0	0	0	0	0	0.1倍
	千錠	-	-	0	11	40	3.7倍
ケタミン	件	6	5	5	4	9	225%
	kg	4	0	0	1	0	8%
その他麻薬	件	60	17	10	10	2	20%
	kg	1	0	0	0	0	19%
	千錠	0	0	-	0	-	全減
向精神薬	件	2	1	6	3	-	全減
	kg	0	-	0	-	-	-
	千錠	-	0	2	7	-	全減
指定薬物	件	381	130	62	47	16	34%
	kg	10	8	2	5	8	162%
合計	件	541	241	235	240	412	172%
	kg	262	485	418	669	1,856	277%
	千錠	0	0	2	18	40	220%
(参考) 使用回数	万回	807	1,572	997	1,799	6,056	337%
銃砲	件	-	1	3	-	-	-
	丁	-	1	3	-	-	-
うち拳銃	件	-	1	3	-	-	-
	丁	-	1	3	-	-	-
拳銃部品	件	-	-	-	-	-	-
	点	-	-	-	-	-	-

(注 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。

2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計を示す。

3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計を示す。

4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。

5. (参考) 使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。*

(覚醒剤：0.03g、大麻草：0.5g、大麻樹脂：0.1g、あへん：0.3g、ヘロイン：0.01g、コカイン：0.03g、MDMA等及び向精神薬：1錠)

6. 端数処理のため数値が合わないことがある。

7. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

8. 令和元年の数値は速報値である。